

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月4日

上場会社名 マークラインズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3901 URL <https://www.marklines.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 坂井 建一 (TEL) 03-4241-3901
 四半期報告書提出予定日 2021年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (決算説明会後にHPに掲載)
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	1,696	29.6	575	28.4	582	29.7	393	41.8
2020年12月期第2四半期	1,308	9.1	448	2.3	449	1.6	277	△11.0

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 450百万円(62.3%) 2020年12月期第2四半期 277百万円(△8.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	29.81	29.74
2020年12月期第2四半期	21.03	20.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	4,428	3,123	70.0
2020年12月期	4,024	2,920	72.6

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 3,100百万円 2020年12月期 2,920百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	21.00	21.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,100	16.4	1,100	14.5	1,050	9.7	730	15.8	55.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 1社(社名) 自動車産業支援ファンド、除外 1社(社名) 2021投資事業有限責任組合

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	13,209,200株	2020年12月期	13,189,200株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	351株	2020年12月期	297株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	13,193,109株	2020年12月期2Q	13,182,931株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P4「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、T D n e t 及び当社WEBサイト (<https://www.marklines.com/ja/ir/>) に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

世界規模で拡大する新型コロナウイルス感染の収束時期が未だ不透明な状況が続く中、当社グループは当第2四半期連結累計期間（2021年1月1日から2021年6月30日まで）において成長戦略に挙げたテーマに取り組んで参りました。

「情報プラットフォーム」事業については、カーボンニュートラルへの潮流が、中国から欧州や米州、さらにはアジア全体にと世界的に広がっていく中で、EV関連情報への関心が高まっているのを背景に、当第2四半期連結累計期間において、新規契約純増社数が前年同期を大きく上回ってきました。1月には、ビッグサイトで開催されたオートモーティブワールドに出展し、約1年ぶりに対面での営業を行いました。また、昨年から取り組んでいる1対n（多数）によるオンラインでの商談を日本以外の地域へさらに拡大し、効率的な営業活動をグローバルで進めました。同時に、既存客への説明の場としても広げ、退会阻止やご利用ユーザーの増加に努めて参りました。コンテンツにおいては、4月にオーストリアのAVL社と業務提携し、分解調査、コスト分析等のベンチマークレポートの充実を図りました。6月にはオンライン展示会を開催、約90社に自社の製品・サービスをアピールする場を提供しました。また、自社情報をスマホで提供できるアプリ・『マークラインズおくとってネ』を展開し、お客様の1次情報を容易に共有できるようになりました。これらの結果、契約企業数は前連結会計年度末から337社増加の3,974社となり、前年の173社増からほぼ2倍の増加となりました。

ベンチマーキング関連事業については、車両・部品調達代行サービスにおいて、加速するカーボンニュートラルの流れを受け、EV車両本体や電動化関連部品の売上が伸長し、前年同期を大きく上回る結果となりました。また分解データ販売においては、Tesla Model Yの分解調査レポートの販売が3月以降も引き続き好調に推移し、売上が牽引しました。LMC Automotive Ltd. 製品（市場予測情報）販売事業については、EV関連データを中心に、調査、コンサルティング関連企業からの引き合いも増加しましたが、売上高は前年同期を若干上回るレベルに留まりました。コンサルティング事業については、昨年から続く電動化の流れにより検収案件が増加しました。第2四半期に入り、売上のペースは一旦鈍化したものの、前年同期を上回る結果となりました。プロモーション広告事業(LINES)については、コロナ禍でオンラインセミナーを開催する企業が増え、その集客ツールとして利用が進みました。また一度に複数サービスを同時に購入する顧客もあったことから、売上高は前年同期を大幅に上回りました。人材紹介事業については、大手カーメーカーが採用活動を活発化させたため、売上高は前年同期を上回ったものの、2019年の水準に留まりました。自動車ファンド事業においては、1月に「自動車産業支援ファンド2021投資事業有限責任組合」を立ち上げ、ファンド募集を始めました。年末を最終クロージングの目途として、事業会社、金融機関などへの募集活動を進めています。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は売上高1,696百万円（前年同期比29.6%増加）、営業利益は、575百万円（前年同期比28.4%増加）、経常利益は、582百万円（前年同期比29.7%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益11百万円を特別利益に、また保有有価証券の株価下落による有価証券評価損34百万円を特別損失に計上したこと等により、393百万円（前年同期比41.8%増加）となりました。

各セグメント毎の経営成績は以下の通りであります。

なお、当社の連結子会社である株式会社自動車ファンドが事業活動を開始したことに伴い、第1四半期連結会計期間より「自動車ファンド事業」を報告セグメントとして新たに追加しました。

また、前第4四半期連結会計期間より、量的な重要性が高まったため「その他の事業」に含めていたプロモーション広告事業を独立区分し、報告セグメントとしております。

○「情報プラットフォーム」事業：売上高1,059百万円（前年同期比12.6%増加）、セグメント利益（営業利益）593百万円（前年同期比13.1%増加）

当第2四半期連結累計期間における契約社数は前連結会計年度末から337社増加し、3,974社となりました。営業スタッフの増強（前期6月末36名、今期6月末42名）とコンテンツの充実が相まって純増社数が伸長しました。2019年入社の新卒第1期生が、月間新規契約社数を更新するなど、若い力が売上の伸長に貢献しました。日本から海外への積極的なオンラインデモも奏功し、中国では高い伸びとなりました。

○「情報プラットフォーム」事業地域別売上高

地域	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日) (百万円)	増減率(%)
日本	501	541	+7.8
中国	116	155	+34.3
アジア	138	150	+8.3
北米	87	101	+16.6
欧州	91	105	+15.4
その他	5	4	△15.7
合計	941	1,059	+12.6

○ベンチマーキング関連事業：売上高290百万円(前年同期比108.8%増加)、セグメント利益(営業利益)71百万円(前年同期比92.5%増加)

当第2四半期連結累計期間のベンチマーキング関連事業は、部品調達代行事業において、電動化の流れを受けて、電動パワートレイン関連の部品調達が増えたことから売上が大きく伸長しました。4月には、日本で未発売のTesla Model Yをカナダから輸入し、部品の販売予約を受けました。

分解調査データ販売においてはTesla Model Yの分解調査レポート販売が好調に推移しました。

○LMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業：売上高79百万円(前年同期比15.0%増加)、セグメント利益(営業利益)17百万円(前年同期比10.6%増加)

当第2四半期連結累計期間のLMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業は、契約更新をする企業が一定数あったものの、新規案件が比較的小型の受注が多かったことから、売上高は前年同期比15.0%程度の増加に留まりました。

○コンサルティング事業：売上高168百万円(前年同期比71.7%増加)、セグメント利益(営業利益)34百万円(前年同期比132.1%増加)

当第2四半期連結累計期間のコンサルティング事業は、日系企業の決算期末が集中している3月末に検収が増加した結果、第1四半期は売上が伸長しました。第2四半期に入り売上増加のペースは一旦鈍化しましたが、その後、引き合い案件が増え始めました。

○プロモーション広告事業：売上高26百万円(前年同期比150.7%増加)、セグメント利益(営業利益)19百万円(前年同期比249.4%増加)

当第2四半期連結累計期間のプロモーション広告事業は、実際の展示会が開催されない中、オンラインによるセミナーを開催する企業が増え、その集客のため利用が増えました。さらには、きめの細かいサポートの効果もあり、一度に複数サービスを購入する顧客も増えたことから売上高、営業利益ともに前年同期を大幅に上回りました。

○人材紹介事業：売上高71百万円(前年同期比42.7%増加)、セグメント利益(営業利益)28百万円(前年同期比149.4%増加)

当第2四半期連結累計期間の人材紹介事業は、採用を復活し始めたカーメーカーの中途採用活動が活発化したため、成約件数は36件(前年同期25件)となりました。売上高は71百万円とコロナ禍で採用が凍結されていた前年同期を上回りましたが、コロナ影響前の2019年の水準に留まりました。

○自動車ファンド事業：売上高一百万円、セグメント損失（営業損失）△20百万円

当第2四半期連結累計期間の自動車ファンド事業は、「自動車産業支援ファンド2021投資事業有限責任組合」のファンド募集と並行してCASEを中心としたスタートアップのベンチャー企業や、ものづくり企業への投資対象企業の発掘を始めました。

○ セグメント別損益

		前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日) (百万円)	増減率(%)
「情報プラットフォーム」事業	売上高	941	1,059	+12.6
	営業利益	524	593	+13.1
ベンチマーキング関連事業	売上高	139	290	+108.8
	営業利益	36	71	+92.5
LMC Automotive Ltd.製品（市場予測情報）販売事業	売上高	69	79	+15.0
	営業利益	16	17	+10.6
コンサルティング事業	売上高	97	168	+71.7
	営業利益	14	34	+132.1
プロモーション広告事業	売上高	10	26	+150.7
	営業利益	5	19	+249.4
人材紹介事業	売上高	50	71	+42.7
	営業利益	11	28	+149.4
自動車ファンド事業	売上高	—	—	—
	営業損失	△3	△20	—

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日に公表しました2021年12月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,301,979	3,778,908
売掛金	131,811	111,591
商品	9,956	8,823
前払費用	22,998	23,383
その他	45,854	12,878
貸倒引当金	△1,450	△1,238
流動資産合計	3,511,150	3,934,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	54,938	26,375
減価償却累計額	△12,353	△4,994
建物及び構築物（純額）	42,585	21,381
土地	5,634	—
その他	39,173	43,000
減価償却累計額	△27,632	△30,296
その他（純額）	11,540	12,704
有形固定資産合計	59,760	34,085
無形固定資産		
ソフトウェア	64,447	49,180
無形固定資産合計	64,447	49,180
投資その他の資産		
投資有価証券	194,307	228,411
破産更生債権等	1,067	753
長期前払費用	3,383	2,624
長期預金	47,430	51,330
敷金	99,239	99,721
繰延税金資産	45,153	28,567
貸倒引当金	△1,067	△753
投資その他の資産合計	389,513	410,656
固定資産合計	513,721	493,922
資産合計	4,024,872	4,428,270

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,707	32,086
未払金	8,230	5,088
未払費用	43,812	39,835
未払法人税等	169,853	176,962
未払消費税等	38,446	38,949
前受金	764,267	965,847
預り金	19,764	21,661
賞与引当金	12,671	19,196
その他	—	855
流動負債合計	1,099,752	1,300,482
固定負債		
退職給付に係る負債	4,435	4,332
固定負債合計	4,435	4,332
負債合計	1,104,187	1,304,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	368,751	370,751
資本剰余金	286,558	288,558
利益剰余金	2,306,972	2,423,323
自己株式	△344	△509
株主資本合計	2,961,938	3,082,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△38,003	9,665
為替換算調整勘定	△3,250	8,583
その他の包括利益累計額合計	△41,254	18,249
非支配株主持分	—	23,081
純資産合計	2,920,684	3,123,455
負債純資産合計	4,024,872	4,428,270

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	1,308,623	1,696,328
売上原価	453,034	648,336
売上総利益	855,588	1,047,991
販売費及び一般管理費		
販売促進費	5,829	6,048
販売手数料	619	639
広告宣伝費	5,324	5,657
役員報酬	28,636	28,523
給料及び手当	183,292	220,008
賞与引当金繰入額	8,427	11,417
退職給付費用	4,187	3,698
法定福利費	28,589	37,082
減価償却費	8,297	6,377
貸倒引当金繰入額	1,705	205
賃借料	25,871	33,404
その他	106,460	119,240
販売費及び一般管理費合計	407,244	472,304
営業利益	448,344	575,687
営業外収益		
受取利息	943	1,904
受取配当金	2,610	1,623
為替差益	—	2,283
その他	1,895	1,041
営業外収益合計	5,449	6,852
営業外費用		
為替差損	4,687	—
その他	8	64
営業外費用合計	4,696	64
経常利益	449,097	582,475
特別利益		
固定資産売却益	—	11,043
特別利益合計	—	11,043
特別損失		
投資有価証券評価損	65,546	34,603
特別損失合計	65,546	34,603
税金等調整前四半期純利益	383,550	558,914
法人税、住民税及び事業税	120,547	171,968
法人税等調整額	△14,296	△4,452
法人税等合計	106,251	167,515
四半期純利益	277,299	391,399
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△1,918
親会社株主に帰属する四半期純利益	277,299	393,317

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	277,299	391,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,833	47,669
為替換算調整勘定	△4,300	11,834
その他の包括利益合計	533	59,503
四半期包括利益	277,832	450,902
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	277,832	452,821
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,918

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	「情報プ ラットフ ォーム」 事業	ベンチマ ーキング 関連事業	LMC Automotive Ltd. 製品 (市場予 測情報) 販売事業	コンサル ティング 事業	プロモー ション広 告事業	人材紹介 事業	自動車フ ァンド事 業	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	941,215	139,260	69,526	97,928	10,601	50,090	—	1,308,623	—	1,308,623
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	941,215	139,260	69,526	97,928	10,601	50,090	—	1,308,623	—	1,308,623
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	524,555	36,989	16,148	14,927	5,556	11,560	△3,865	605,872	△157,527	448,344

(注) 1. セグメント利益の調整額△157,527千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	「情報プ ラットフ ォーム」 事業	ベンチマ ーキング 関連事業	LMC Automotive Ltd. 製品 (市場予 測情報) 販売事業	コンサル ティング 事業	プロモー ション広 告事業	人材紹介 事業	自動車フ ァンド事 業	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	1,059,509	290,721	79,925	168,115	26,579	71,476	—	1,696,328	—	1,696,328
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,059,509	290,721	79,925	168,115	26,579	71,476	—	1,696,328	—	1,696,328
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	593,258	71,201	17,859	34,650	19,417	28,835	△20,814	744,408	△168,721	575,687

(注) 1. セグメント利益の調整額△168,721千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社である株式会社自動車ファンドが事業活動を開始しております。これに伴い、新たに報告セグメントとして「自動車ファンド事業」を追加し、従来「調整額」に含めていた同社を「自動車ファンド事業」に移管しております。

また、前第4四半期連結会計期間より、量的な重要性が高まったため「その他の事業」に含めていたプロモーション広告事業を独立区分し、報告セグメントとしております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

マークラインズ株式会社

四半期決算補足説明資料

2021年 第2四半期

2021年8月4日

Copyright © 2021 MarkLines Co., Ltd. All Rights Reserved

はじめに

2021年第1四半期において当社子会社である株式会社自動車ファンドが「自動車産業支援ファンド2021投資事業有限責任組合」を組成したことにより、同社が本格的に投資活動を開始しました。

これに伴い、当社は「自動車ファンド事業」を新たな事業セグメントとして設定しました。当該事業は、当社グループが前期まで運営してきた既存事業とは性質が異なるため、前第2四半期累計期間と当第2四半期累計期間における連結業績の比較について補足説明いたします。

なお、当第2四半期においては当組合を当社の連結子会社として取り扱い、連結の範囲に含めております。

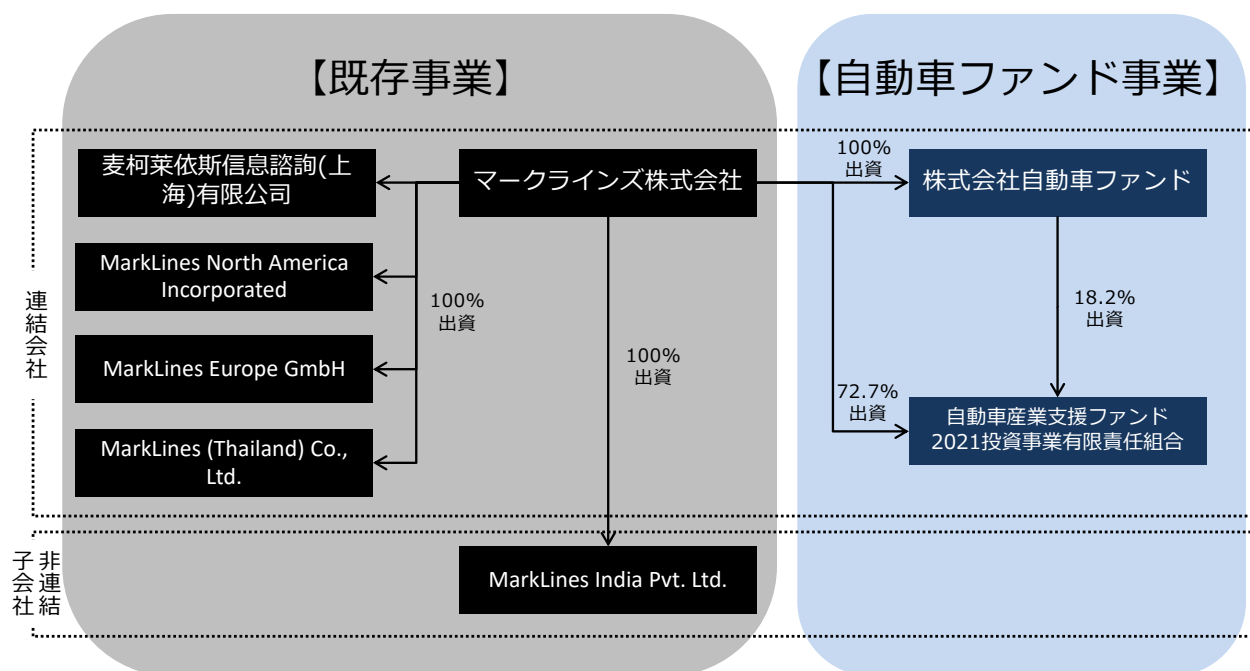
- I. 連結の範囲について**
- II. 連結業績サマリー**
- III. 当期における「自動車産業支援ファンド2021」の連結上の取扱いについて**

I. 連結の範囲について

連結の範囲について

マークラインズグループの連結範囲

2021年6月30日現在



※既存事業：
情報プラットフォーム、ベンチマーキング関連、コンサルティング、
市場予測情報販売、人材紹介、プロモーション広告

変化の先頭に
MARKLINES Copyright © 2021 MarkLines Co., Ltd. All Rights Reserved
www.marklines.com

5

II. 連結業績サマリー

変化の先頭に
MARKLINES Copyright © 2021 MarkLines Co., Ltd. All Rights Reserved
www.marklines.com

6

連結業績サマリー

1. 既存事業（自動車ファンド事業除く）の連結業績

(単位：百万円)

	FY2020Q2	FY2021Q2	増減	
連結売上高	1,308	1,696	+387	+29.6%
連結営業利益	452	596	+144	+31.9%
連結経常利益	452	603	+150	+33.2%
当期純利益	281	412	+131	+46.6%
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	281	412	+131	+46.6%

連結業績サマリー

2. 既存事業（自動車ファンド事業除く）のセグメント別損益

(単位：百万円)

事業部		FY2020 Q2	FY2021 Q2	前期比	
情報プラットフォーム事業	売上高	941	1,059	+118	+12.6%
	セグメント利益	524	593	+68	+13.1%
ベンチマーキング関連事業	売上高	139	290	+151	+108.8%
	セグメント利益	36	71	+34	+92.5%
市場予測情報販売事業	売上高	69	79	+10	+15.0%
	セグメント利益	16	17	+1	+10.6%
コンサルティング事業	売上高	97	168	+70	+71.7%
	セグメント利益	14	34	+19	+132.1%
プロモーション広告事業	売上高	10	26	+15	+150.7%
	セグメント利益	5	19	+13	+249.4%
人材紹介事業	売上高	50	71	+21	+42.7%
	セグメント利益	11	28	+17	+149.4%
調整	売上高	-	-	-	-
	セグメント利益	△157	△168	△11	-
既存事業連結売上高		1,308	1,696	+387	+29.6%
既存事業連結営業利益		452	596	+144	+31.9%

連結業績サマリー

3. 自動車ファンド事業（新規）の連結業績

(単位：百万円)

	FY2020Q2	FY2021Q2	増減	
連結売上高	-	-	-	-
連結営業利益	△3	△20	△16	-
連結経常利益	△3	△20	△16	-
当期純利益	△3	△20	△16	-
非支配株主に帰属する当期純損失	-	△1	△1	-
親会社株主に帰属する当期純損失	△3	△18	△15	-

連結業績サマリー

4. 連結業績（既存事業及び自動車ファンド事業の合算値）

(単位：百万円)

	FY2020Q2	FY2021Q2	増減	
連結売上高	1,308	1,696	+387	+29.6%
連結営業利益	448	575	+127	+28.4%
連結経常利益	449	582	+133	+29.7%
当期純利益	277	391	+114	+41.1%
非支配株主に帰属する当期純損失	-	△1	△1	-
親会社株主に帰属する当期純利益	277	393	+116	+41.8%

Ⅲ. 当期における「自動車産業支援ファンド2021」の連結上の取扱いについて

当期における「自動車産業支援ファンド2021」の連結上の取扱いについて

1. 当該ファンドについて

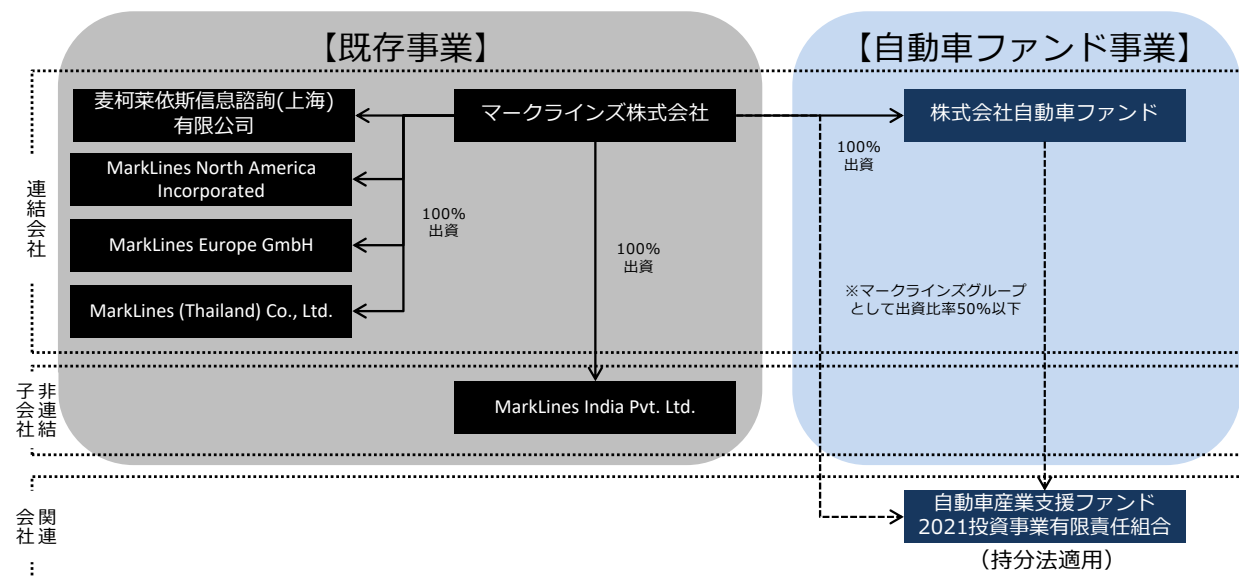
- ① 当該ファンドでは、2021年12月末まで資金募集を行う予定です。
- ② 募集活動の状況により[※]LP出資者からの出資額が増加し当社の出資比率が50%以下まで減少した場合、当該ファンドは当社の連結子会社から除かれ持分法適用の関連会社となります。

※ LP出資者：組合運営に全責任を無限に負うGP（無限責任組合員=自動車ファンド、SBIキャピタル）に対して、資金出資者であり、その責任が出資した金額のみに制限される組合員（有限責任組合員）のこと。

当期における「自動車産業支援ファンド2021」の連結上の取扱いについて

2. 「自動車産業支援ファンド2021」を持分法適用の関連会社として取り扱った場合

① 当組合に対する出資比率が50%以下となった場合の連結の範囲



当期における「自動車産業支援ファンド2021」の連結上の取扱いについて

(ご参考)

② 当組合を連結した場合と持分法で処理した場合の連結業績比較

(単位：百万円)

	FY2021Q2 (連結) ①	FY2021Q2 (持分法) ②	増減 ①-②
連結売上高	1,696	1,712	△16
連結営業利益	575	596	△21
連結経常利益	582	584	△1
当期純利益	391	393	△1
非支配株主に帰属する当期純損失	△1	-	△1
親会社株主に帰属する当期純利益	393	393	-